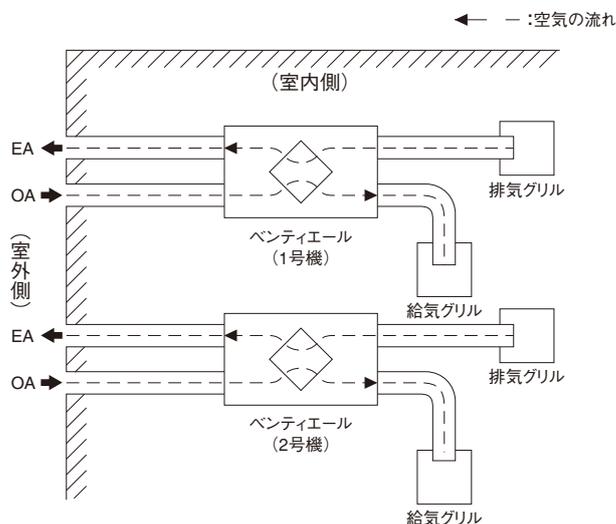


2-6 | 集合配管について

ベンティエール複数台のOA・EAの集合配管はできるだけ避け、各本体毎にダクト施工をしてください。(図2)

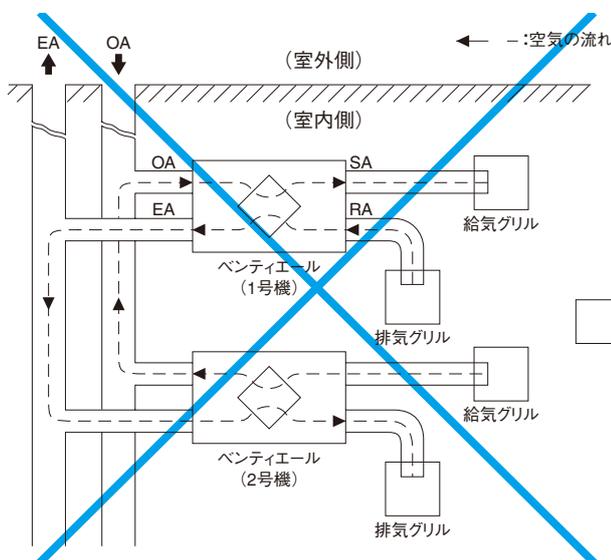
複数台のOA・EAの集合配管をすると図1のような空気の流れが生じる為、正常な空気の流れが保てません。各ベンティエールのOA・EA側のダクト内に、逆流防止用の電動シャッターを取り付ける(図3参照)と各本体毎にダクト施工した場合に比べて、かなりのコストアップになるので、できるだけ各本体毎のダクト施工することを推奨します。

図2 ベンティエール1台毎にダクト施工をする。



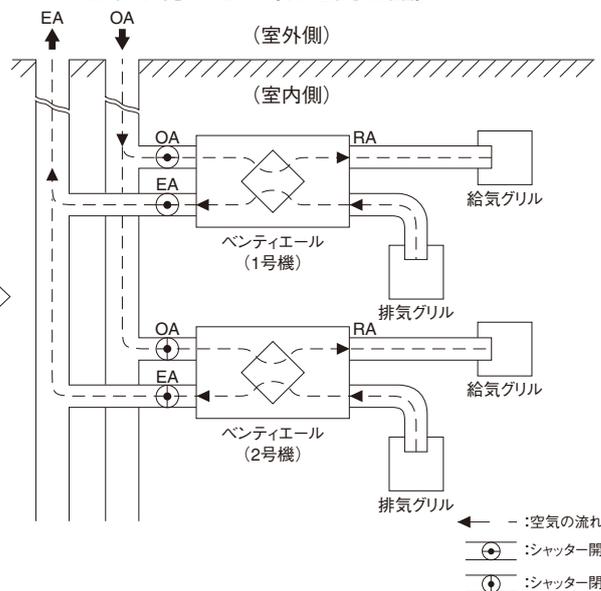
上記ダクト系統図において、1台毎にダクト施工すれば、2号機の運転状態にかかわらず、1号機は正常な空気の流れになります。

図1 集合配管はできません。



上図ダクト系統図においてダンパーがない場合、2号機を停止した状態で1号機を運転すると、←- 破線の空気の流れとなり、OAは室外からの空気取入量が減少し、EAは排気グリルより空気が吹き出します。従って、正常な空気の流れになりません。

図3 OA・EA側各ダクトに逆流防止用ダンパーを取り付ける。(現地調達品)



上記ダクト系統図において、電動シャッター(別売品)をOA、EA側各ダクトに取り付け、ベンティエールの運転信号に連動させれば、図1のような不具合もなく、正常な空気の流れになります。

(ベンティエールと電動シャッターの結線図)は、P.135を参照してください。